

○計画期間：平成28年7月～平成34年3月（5年9月）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成29年度終了時点（平成30年3月31日時点）の中心市街地の概況

認定府中市中心市街地活性化基本計画は2年目の事業年度を迎え、概ね計画通り各事業を進めている。

ハード事業では、府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業が完了し、平成29年7月に「ル・シーニュ」としてオープンした。これにより、府中駅南口における3つの再開発事業すべてが終了し、本市中心市街地の表玄関が完成した。また、府中本町駅前整備を進めてきた国史跡武蔵国府跡国司館地区保存活用事業の第一期工事（遺構整備及び外構整備等）が平成30年3月末をもって完了し、駅前という好立地、かつ他市にはない資源として新たなにぎわいの創出が期待される。新庁舎建設事業についても平成30年3月末をもって、実施設計がまとめられた。

ソフト事業では、平成28年12月に設立した「一般社団法人まちづくり府中」の活動が本格的に始動し、前述した「ル・シーニュ」の開業を記念した府中駅南口に立地する3地区の大規模商業施設が連携した一斉セール開催や、平成29年11月18日から26日の期間で、様々な団体が催すイベントを「府中まちなかフェスタ」という枠組みで取りまとめ、実施主体や官民の垣根を越えたチラシを作成するなどエリアマネジメントに係る取組を実施した。これまで個別に行ってきた販促活動やイベントの周知などにコーディネーター役として関わったことにより、来訪者や消費者に対する情報の普及効果も高まり、今後、さらなる発展・加速が期待される。

市の事業としては、東京競馬場とタイアップした「府中ぐるめぐりクーポン&スタンプラリー」を平成29年10月21日から平成30年2月25日まで実施した。市内を複数エリアに分けてスタンプを取得しながら、協力店舗でクーポンを使用してお得にお食事をしていただくなど、回遊性の向上に資する一定の効果を得ることができた。また、中心市街地における回遊の起点となる「けやき並木通り」では、年末年始の期間に来訪される方々へのおもてなしとして、竹を用いた和のライトアップを行い、製作段階から多くの市民にご協力いただき、好評を得た。

今後の課題としては、一般社団法人まちづくり府中のエリアマネジメントをさらに推進すべく、安定した収益事業の確立が急務である。また、ル・シーニュ開業の影響もあり、大規模商業施設の年間販売額や休日の歩行者交通量は増加に転じたが、特に大規模商業施設の年間販売額に結びつく中心市街地の経済活力という点では、長期的かつ継続的な取組と周辺商業者（店舗）との一層の連携が必要不可欠であることから、専門人材（タウンマネージャー）の支援も受けながら、今後の事業者間の連携をさらに強化し、取組を発展させていく必要がある。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（中心市街地区域）	平成27年度（計画期間開始前年度）	平成29年度（フォローアップ年度）
人口	14,905人	15,692人
人口増減数	294人	361人
社会増減数	算出不可	算出不可
転入者数	算出不可	算出不可

## 2. 平成 29 年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

平成 29 年度は府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業が完了し、長年の懸案事項であった府中駅前のハード面に関するまちづくりが1つの区切りを迎えたことは、再開発事業の完了とともに近隣都市（地域）との競争が本格化することを意味している。

近隣市では、再開発事業や有休地を活用した大規模開発が進む中、府中市内の特に経済活力の維持・向上のためには、従来のような行政等による都市インフラの整備といった物理的な支援だけでなく、民間事業者の経済活動に対する側面的な支援とが重要であり、その中心的な役割を担うのが一昨年設立された一般社団法人まちづくり府中となる。

指標の実現に向けては、回遊性の創出を図る「東京競馬場タイアップ事業」について、実績値が目標値の50%程度という結果になっており、事業の新たな制度設計も含め改善を図る必要がある。また、大規模商業施設の年間販売額やけやき並木通りの歩行者交通量については、単年度の数値にとらわれることなく、ル・シーニュのオープン1年目であるといった環境面の要素を踏まえ、慎重に推移を分析していくことが肝要である。

平成 30 年度は、変化する環境の中で事業を確立する年度として位置付け、関係者との連携強化を図りながら、目標達成に向けた事業展開を期待する。

## II. 目標毎のフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
経済活力の向上 (商業の活性化)	大規模商業施設 年間販売額 (億円/年度)	339 億円 (H26)	370 億円 (H33)	300 億円 (H28)	③	①
	(参考指標) 空き店舗数 (店舗/年度)	61 店舗 (H27)	—	47 店舗 (H29)	—	—
回遊性の創出 (地域資源の活用)	東京競馬場タイアップ 年間利用組数 (組/年度)	104 組 (H27)	16,000 組 (H33)	8,465 組 (H29)	①	①
	(参考指標) 休日の歩行者交通量 (人/日)	19,378 人 (H27)	—	25,500 人 (H29)	—	—
市民交流の増進 (都市機能の増進)	公共施設年間利用者数 (人/年)	378,455 人 (H27)	400,000 人 (H33)	722,286 人 (H29)	①	①

#### <取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

## 2. 目標達成見通しの理由

### (1) 大規模商業施設年間販売額

昨年度フォローアップ時点と比較して、さらに減額となったが、平成 29 年 7 月にル・シーニユがオープンしたことや、同商業施設のオープン以降、大規模商業施設間の積極的な連携や情報共有がなされていることから、施設間の回遊及び消費活動の活性化が見込まれ、目標達成は可能であると考えます。

### (2) 東京競馬場タイアップ利用組数

平成 28 年度は、ロコミグルメサイト「食べログ」と協力し、事業を実施したことで高い PR 効果を発揮し、目標値を達成することができた。平成 29 年度は、事業の仕組みを見直し、スマートフォンなどを活用したスタンプラリー方式を採用したが、事業に関する認知度が広まらず、目標値を下回る結果となった。しかし、地元特産品などを景品としたスタンプラリーは、地域資源を活用した中心市街地内の回遊性の向上という観点では、平成 28 年度よりも高い効果を発揮したものと推測しており、平成 30 年度以降は、これまでの結果を参考に、再度実施方法等を検討することで、目標の達成は可能であると考えます。

### (3) 公共施設年間利用者数

府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業の完了に伴い、平成 29 年 7 月に市民活動センター（平成 29 年利用者数：約 34 万人）及び府中の森芸術劇場分館（平成 29 年利用者数：約 9 千人）が開業したことにより、目標値を大きく上回る結果となった。一方で、平成 29 年に約 33 万人の利用があった府中グリーンプラザが平成 30 年 3 月 31 日に閉館を迎えたため、平成 30 年の利用者数については平成 29 年と比較して減少することが見込まれるが、目標値の達成は可能であると考えます。

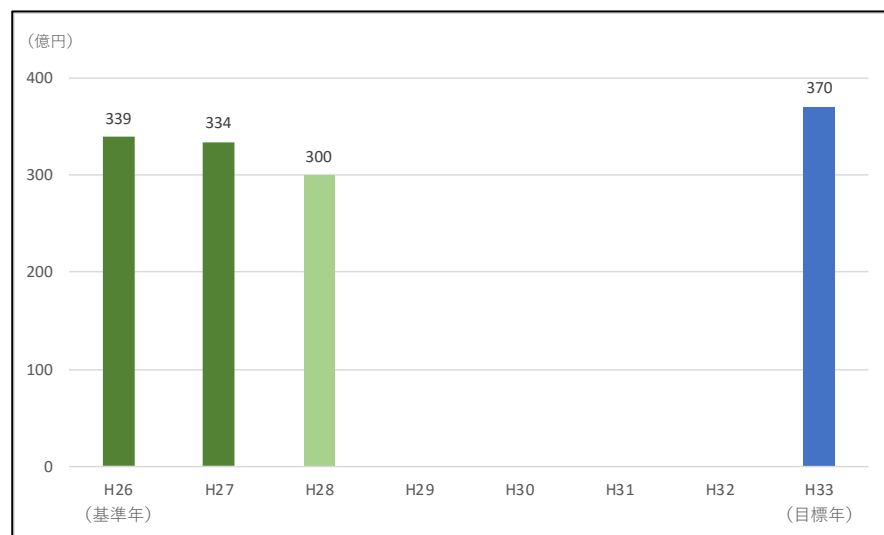
## 3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

「大規模商業施設年間販売額」については、事業が順調に進捗し、当初の予定通り平成 29 年 7 月の開業に至ったため①と評価した。

## 4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「大規模商業施設年間販売額」※目標設定の考え方基本計画 P63～P65 参照

### ●調査結果の推移



年	(年間販売額)
H26	339 億円 (基準年値)
H27	334 億円
H28	300 億円
H29	
H30	
H31	
H32	
H33	370 億円 (目標値)

※調査方法：事業者に対するヒアリング調査  
 ※調査月：平成30年3月  
 ※調査主体：府中市  
 ※調査対象：伊勢丹・フォーリス、くるるの年間販売額

## ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

### ①. エリアマネジメントを進める組織機構の創設による地域マネジメント（一般社団法人まちづくり府中）

事業完了時期	平成33年度【実施中（ソフト）】
事業概要	平成29年7月のル・シーニュ開業に伴う、大規模商業施設間の連携に向けた会議体の設置及び事業実施などに取り組んできた。また、既存イベントの連携にも積極的に関わってきた。
事業効果及び進捗状況	今回のフォローアップについては、昨年度の実績値より低下している点は危惧しつつも、平成28年度の数値であるため、ル・シーニュの開業や一般社団法人まちづくり府中の取組みの効果が反映されていないため、現在の取組みを継続・発展させていくことで、年間販売額の回復・増加に期待できる。

### ②. 府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業（府中駅南口第一地区市街地再開発組合）

事業完了時期	平成29年度【済（ハード）】
事業概要	中心市街地における都市機能の増進を図ることを目的として、商業施設、市民交流施設、住宅等を整備することにより、まちなか居住及びにぎわいの創出ならびに経済活力の向上に寄与するとともに、中心市街地の魅力を向上させる。
事業効果及び進捗状況	平成29年7月に本施設が開業を迎えたことにより、平成28年度と比較して「休日のけやき並木通りの歩行者交通量」が約1万人／日増加するなど、中心市街地への来訪者の増加やにぎわいの創出に好影響寄与した。 経済活動への影響については、今回のフォローアップの対象期間外であることから、次年度以降把握していく。

## ●目標達成の見通し及び今後の対策

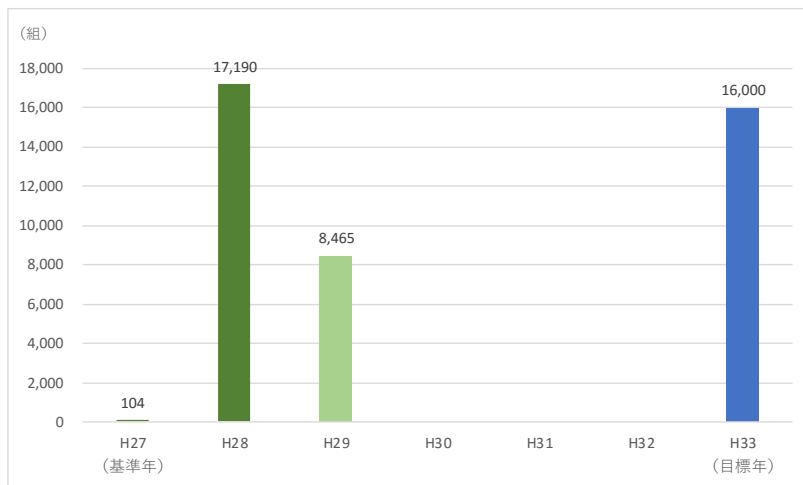
昨年度のフォローアップ時点より、さらに下回る結果となり、中心市街地の経済活力の低下が危惧されるが、「ル・シーニュ」の開業が中心市街地への来訪者の増加に寄与していることは、歩行者交通量調査からも明らかであり、本施設開業による経済活力への効果は、次年度以降検証していくことになる。

一般社団法人まちづくり府中の設立以降、これまではなかった大規模商業施設間の連携や情報共有が図られることになり、エリアマネジメントの効果が徐々に地域に浸透してきていることから、目標の達成は可能であると考えている。

ただし、ル・シーニュの開業以降、調布市や国分寺市といった近隣市においても大規模商業施設が相次いでおり、本市への影響も免れないことから、より一層、地域の一体感を高め、一般社団法人まちづくり府中を中心としたエリアマネジメントに係る取組を最大限後押ししていく必要がある。

「東京競馬場タイアップ年間利用組数」 ※目標設定の考え方基本計画 P66～P68 参照

●調査結果の推移



年	(年間利用組数)
H27	104 組 (基準年値)
H28	17,190 組
H29	8,465 組
H30	
H31	
H32	
H33	16,000 組 (目標値)

※調査方法：委託事業者からの報告

※調査月：平成 30 年 3 月

※調査主体：府中市

※調査対象：府中ぐるめぐりクーポン&スタンプラリー参加者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. エリアマネジメントを進める組織機構の創設による地域マネジメント（一般社団法人まちづくり府中）

事業完了時期	平成 33 年度【実施中（ソフト）】
事業概要	市の委託事業により、市内飲食店をお得に利用しながら、スタンプを集めてプレゼントに応募できる「府中ぐるめぐりクーポン&スタンプラリー」を実施した。
事業効果及び進捗状況	スマートフォンやタブレットを利用したサービスであったため、参加者が限定的になってしまった点や、平成 28 年度と異なり、駅や電車内での周知を行わなかったため、本事業への認知度に課題が残った。 一方で、参加者へのアンケートでは好意的なご意見も複数いただいていることから、少ない費用で最大限の効果を発揮できるよう、次年度以降の実施方法について検討する必要がある。

②. 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用事業（府中市）

事業完了時期	平成 31 年度【実施中（ハード）】
事業概要	国史跡武蔵国府跡を将来にわたって適切に保存し、歴史的価値を広く発信していくとともに、本市の中心である府中本町駅前にふさわしい、多くの人々を集客するにぎわいと魅力ある空間を創出する。
事業効果及び進捗状況	平成 30 年 3 月末をもって第一期工事（遺構整備及び外構整備等）が完了した。今後は、二期工事として賑わい施設（仮称）を整備し、「日本一 JR の駅に近い史跡」という立地環境を生かし、多くの方々が訪れるにぎわいと魅力あふれる空間の創出を目指し、整備を進める。

### ③. 新庁舎建設事業（府中市）

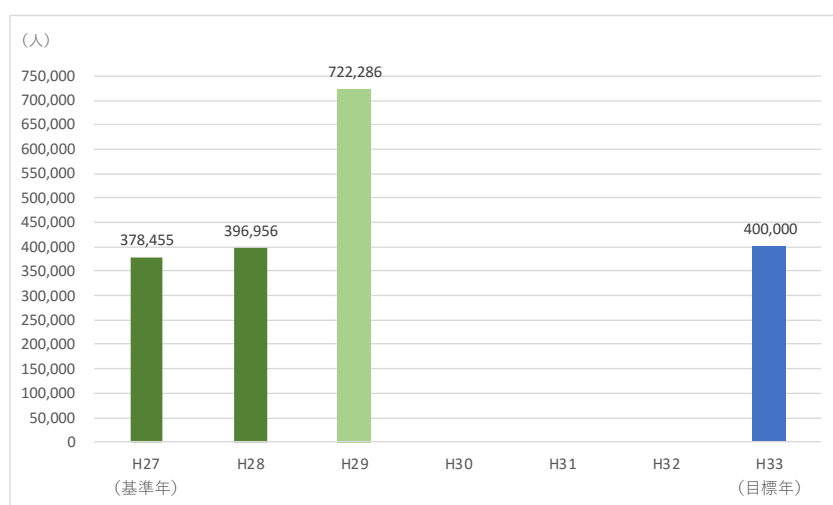
事業完了時期	平成 33 年度【実施中（ハード）】
事業概要	現在の市庁舎は、50 年以上が経過したことから、設備の老朽化やバリアフリー対応などの課題を解消するために市庁舎の建て替えを行うとともに、多彩な市民活動や市民交流を支えるための空間を整備する。
事業効果及び進捗状況	本事業は、進捗状況に遅れが生じているものの、平成 30 年 3 月末をもって実施設計が完了した。 今後は、施行区域内の埋蔵文化財調査を経て、おもやの建設、既存庁舎の解体、はなれの建設、外構整備を行っていく。

#### ●目標達成の見通し及び今後の対策

平成 28 年度は、口コミグルメサイト「食べログ」と協力し、事業を実施したことで高い PR 効果を発揮し、目標値を達成することができた。平成 29 年度は、事業の仕組みを見直し、スマートフォンなどを活用したスタンプラリー方式を採用したが、事業に関する認知度が広まらず、目標値を下回る結果となった。しかし、地元特産品などを景品としたスタンプラリーは、地域資源を活用した中心市街地内の回遊性の向上という観点では、平成 28 年度よりも高い効果を発揮したものと推測しており、平成 30 年度以降は、これまでの結果を参考に、再度実施方法等を検討することで、目標の達成は可能であると考えられる。

「公共施設年間利用者数」※目標設定の考え方基本計画 P69～P70 参照

#### ●調査結果の推移



年	(年間利用者数)
H27	378,455 人 (基準年値)
H28	396,956 人
H29	722,286 人
H30	
H31	
H32	
H33	400,000 人 (目標値)

※調査方法：担当課へのヒアリング

※調査月：平成 30 年 3 月

※調査主体：府中市

※調査対象：市立府中グリーンプラザ、府中 NPO・ボランティア活動センター、市立ふるさと府中歴史館、府中市市民活動センター、府中の森芸術劇場分館の利用者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業（市民活動拠点施設及び音楽練習施設整備事業）（府中市）

事業完了時期	平成 29 年度【済（ハード）】
事業概要	府中駅南口第一地区市街地再開発組合により整備された再開発ビルの地上 5・6 階の市民活動センター及び地下 2 階の府中の森芸術劇場分館（音楽練習室）を購入した。
事業効果及び進捗状況	府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業の完了に伴い平成 29 年 7 月に市民活動センター及び府中の森芸術劇場分館がオープンした。 府中駅直結という利便性の高さを生かし、市民活動センターについては約 34 万人、府中の森芸術劇場分館については約 9 千人に利用いただき、市民活動や市民交流の活性化及び市民文化活動の振興に寄与した。

②. 新庁舎建設事業（府中市）

事業完了時期	平成 33 年度【実施中（ハード）】
事業概要	現在の市庁舎は、50 年以上が経過したことから、設備の老朽化やバリアフリー対応などの課題を解消するために市庁舎の建て替えを行うとともに、多彩な市民活動や市民交流を支えるための空間を整備する。
事業効果及び進捗状況	本事業は、進捗状況に遅れが生じているものの、平成 30 年 3 月末をもって実施設計が完了した。 今後は、施行区域内の埋蔵文化財調査を経て、おもやの建設、既存庁舎の解体、はなれの建設、外構整備を行っていく。

③. 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用事業（府中市）

事業完了時期	平成 31 年度【実施中（ハード）】
事業概要	国史跡武蔵国府跡を将来にわたって適切に保存し、歴史的価値を広く発信していくとともに、本市の中心である府中本町駅前にふさわしい、多くの人々を集客するにぎわいと魅力ある空間を創出する。
事業効果及び進捗状況	平成 30 年 3 月末をもって第一期工事（遺構整備及び外構整備等）が完了した。今後は、二期工事として賑わい施設（仮称）を整備し、「日本一 JR の駅に近い史跡」という立地環境を生かし、多くの方々が訪れるにぎわいと魅力あふれる空間の創出を目指し、整備を進める。

●目標達成の見通し及び今後の対策

府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業の完了に伴い、平成 29 年 7 月に市民活動センター（平成 29 年利用者数：約 34 万人）及び府中の森芸術劇場分館（平成 29 年利用者数：約 9 千人）が開業したことにより、目標値を大きく上回る結果となった。一方で、平成 30 年 3 月 31 日に、会議室や音楽練習室などを備えた府中グリーンプラザ（平成 29 年利用者数：約 33 万人）が閉館を迎えたため、平成 30 年の利用者数については平成 29 年と比較して減少することが見込まれるが、目標値の達成は可能であると考えられる。